

第84回 理事会(平成16年度第4回)議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時: 平成16年10月4日(土) 19:00~21:00
2. 場 所: 神奈川県社会福祉会館 4階研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事: (副会長)古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
(専務理事)片 忠夫
(常務理事)三塚 康雄、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷芳隆
(理事)柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、長久保 巖、岡本 洋一、
佐々木 生道、川田 光代、清水 忠、木村 徳善、菊地 勇二、
栗田 謙悟、平沢 幸一、斎藤 幸雄
欠席理事: (会長)河野 洋平
(理事)百海 廷、吉岡 去私
4. 出席監事: 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出: 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出: 清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書記: 中里 健二広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺本部長より、別紙のとおり下記事項についての報告がなされ、了承された。

1. 第2回千葉県スキー連盟(SAC)と技術選打ち合わせ 9月21日(火)
2. H17年度教育本部拡大会議開催について 9月25日(土)
3. SAJ教育本部専門委員会議兼加盟団体教育本部長事務連絡会議の開催 9月26日(日)

(2) 審議事項

教育本部専門委員遠距離者の交通費について(別紙)

渡辺本部長より、別紙のとおり、小田原スキー協会の門脇 均専門委員(秋田県在住)の交通費が2万円以上のため、理事会承認の提案がなされ、承認された。

指導員研修会(理論)の特別講師について

渡辺本部長より、指導員研修会の特別講師にSAJ教育本部イグザミナ-委員会委員長の市野聖治氏にお願いしたので、その謝金10万円を計上したいとの提案がなされ、片専務理事より、講師謝金は予算計上してないので、全体の予算で執行することで承認された。

技術選の計算委員のアウトソーシングについて

渡辺本部長より、技術選の計算委員の作業負担増に対する改善策を提案したい。現状の問題点として、1)集計メンバーの若手(新人)育成が急務、2)集計ソフトのメンテ作業負担大。これは、山崎専門委員が担当していたが、大会要項の変更により、集計ソフトのメンテ工数が大である。新メンバーに引き継ぐ場合も同様で、外注に任せたいと考える。現状人員の苦労等を考慮すると集計ソフト購入により計算委員も省人化できるので、変更したい。集計ソフトの見積りが千葉県より提案され金額は56万円であり、購入時はさらに安くなるようである。(30万円台)結論としては、担当メンバー代わるので集計ソフトに変更したい。間に合えば今年から実施したいとの提案がなされ、山田副会長からソフト購入すると30万円掛かるが、計算委員が何人省けるのでとの数字が見えないとの意見に対し、菊地理事より昨年までSAK4名・SAC2名の6名で担

当していたが、2名で対応可能と考える。片専務理事からは、今期は前年度の－80万円を背負ってスタートしているので苦しい。予算どおり執行してほしい。今、導入した場合人件費は節約できるのか、費用は按分であるのか、はっきりした数字を11月の研修会までに提出することで承認された。

2) 総務本部関係

(1) 報告事項

資金運用状況について

岡本理事より、別紙のとおり「10/1現在の預金残高は229万1856円だが、各部の専門委員会費や作業費で50万円程出費してしまう。理事会費も未精算なので、残金は100万円台になる。今回、登録費がどれくらいあるか解からないが、このままいくとが100万円台を切るかもとの報告がなされ、了承された。

さらに岡本理事より、事務局費を切り詰めており、電話・FAX等で4回線あったが、2回線を解約して、5～6000円/月節約するので、理事の方も経費削減に努力してくださいとの要望がなされた。また、どの段階でアラームを上げればよいのか、何故なら事業費が支出して会計が遅れると年度末の5月になってアラームを発信しても遅いと説明がなされ、片専務理事より100万円を切ったらアラームを出すように指示があった。

山田副会長より、支出するものは全部出して、マイナスするものは借受けできるルールを作り、年間どれだけの赤字が出るのかを考えていくことも大切との意見が出された。片専務理事より、予算を組んであるので、そのとおり執行していけばよいのであり、極力念頭に入れること。さらに特別会計を積み立ててあるが、このルールがないので整理して流用可能にして手を打ちたいとの意見が出された。

ハンディキャップ委員会報告

越前谷事務局長より、H/C委員会の開催はなし。手続き要項説明会で「善意の賛助会員ご協力をお願い」を各クラブ宛に発送した。理事の皆さんにも振込み用紙をお配りしたので善意の寄付をお願いしたいとの報告がなされ、了承された。

山田副会長より、H/C委員会活動はスキー団体が活動していて、大会では委員会の活動が見えてこないとの意見が出された。越前谷事務局長からは今年は委員会が主導権を取るような活動にしていきたいとの回答があった。

広報委員会報告

徳本理事より、広報委員会を10月6日に開催予定であり、養成講習会や研修会理論及び雪上行事の取材担当を決める旨の報告がなされ、了承された。

北海道企画委員会報告

佐々木理事より、9月23日に打合せを開催し、千葉県との共催も2年目になるので、千葉からの集客依頼をした。目玉となるイベントを現在検討中(現地のデモを呼ぶ、競技本部の協力を得てポールセット等)である。委員会の会議録は作成未であるので次回の理事会には間に合わせる。次回の企画委員会は10月中旬の予定で、ビデオ編集中心との報告がなされ、了承された。

ウエア委員会報告

長久保理事より、県連ユニホームの見積り書が届いた。オプション品の売上げの10%をSAKに収めることにした。費目は物品販売とする。申込み状況では、役員関係はほぼ終了しているとの報告がなされ、了承された。

協賛企業拡大状況報告

長久保理事より、9月28日現在33社の企業から協賛していただき、2004年新規分として計280万円強との報告がなされ、了承された。

山田副会長より、富士見パノラマスキー場が入っていない。今期も協賛する予定なので、担当者

に再度連絡してほしいとの要望があった。また片専務理事より、野辺山のスキー場経営会社が新しくなり、協賛額も増やすとのことなので、競技本部長に新規に契約する様に要望があった。

上田本部長より、横浜信用金庫に協賛依頼の説明に行ったが、1つの団体に契約すると他の企業からも依頼が来るので難しいとのことであり、集客ポスター等は貼らして、申込み書を置かしてくれるとの報告があった。

登録状況について

長久保理事より、有資格者の県外への移籍が6名あったとの報告がなされ、了承された。

現地総務行事担当について

上田本部長より、行事担当を再度見直しを行ない、次回報告することで、了承された。

教育委員会報告について

越前谷事務局長より、教育委員会報告として定められた方法で報告しており、予算・登記・計画は7月中旬に報告済み。決算と行事報告は9月中旬に報告済みです。尚、木村理事の苗字の間違いがあり、再提出して対応済との報告がなされ、了承された。

指導員会との打合せについて

上田本部長より、指導員会から県連と打合せしたい旨の申し入れがあり、期日を調整して回答するとの報告がなされ、了承された。

(2) 審議事項

功労指導員関連の推薦について(別紙)

越前谷事務局長より、別紙のとおり、「平成16年度功労指導員・功労準指導員・名誉検定員の推薦について」を9月末日にSATへ提出したとの提案がなされ、承認された。

片専務理事より、功労指導員等の推薦は理事会が承認なので、安全対策委員会が勝手にSAJへ提出してしまうなど一人歩きしているので、教育担当理事は安対(委)と連携を取り、対応することの指示がなされた。

保険の運用について

上田本部長より、役員に掛けていた保険であるが、水島保険からスキー安全会に変更となり賠償保険の継続でよいか、一部傷害保険に切り替えるのかを審議して頂きたい。役員は教育・競技の専門委員130~140名で1000円程度の保険に掛けると14万円(予算計上)になります。大会保険は1000人規模/1大会で、約3,5万円掛かり、どちらかにしたいとの提案がなされ、片専務理事より、今期は競技大会の5大会プラス技術選に掛けたい。役員用は止めて個人で入るようにしていただきたいとの提案があり、承認された。

協賛会員規程について(案・別紙)

徳本理事より、別紙のように提案がなされ、一部修正(第1条に寄付行為を入れる及び第6条の振込み期限を原則としてを追加)することで、承認された。

e 決済検討委員会報告について

徳本理事より、別紙のとおり、9月24日に決済会社のデジタルチェック社の担当がSAK事務所に来て、契約について打合せを行ない、SAKホームページにリンクを張ることの了解を頂いた。即ち協賛することになったので、契約時の費用は差し引くと掛からない。契約手続きが終了後、エントリー開始は11月からとしたいとの提案がなされ、承認された。

3) 競技本部報告

(1) 報告事項

菊地競技本部長より、別紙のとおり下記事項に関して報告がなされ、了承された。

1. ノルディックローラー合宿について 9月18日(土)~20日(月)
2. 競技力向上委員会開催について 9月29日(水)

(2) 審議事項

加盟団体主催大会の公認について(案・別紙)

菊地本部長より、再度、横浜スキー協会から依頼書が届いたので、公認制度を導入していただきたい。公認規則及び関係資料を2ページ以降に関係資料を添付し、公認料は取らないことにすると
の提案がなされ、公認規則を一部修正(制定日を10月4日とし、施行を11月1日とする。及び
ポイントレースを明確にするため、第14条に追加)することで、承認された。

競技会名の変更について

菊地本部長より、12月の野辺山大会に新キャタピラー三菱東日本支社が協賛することになり、
競技名の変更提案がなされ、承認された。

変更前 第3回チャレンジカップ野辺山大会

変更後 第3回チャレンジカップ新キャタピラー三菱大会

競技本部スタッフベスト製作について(見積り書・別紙)

菊地本部長より、現地委託行事が増えて、現地役員用に現在のベストを着せて、役員・スタッフ
用にベストを製作して、大会の運営に当たりたい。緊縮財政ではあるが、ギリギリの14着(合計
187400円)を製作したいとの提案がなされ、承認された。

4) その他

(1) 平沢理事からコメント

現地総務は、広報を兼務できる方を派遣してくださいとの要望があった。

(2) 越前谷事務局長からコメント

行事報告書の内容ですが、良かっただけの2行しか書いてないので、もっと行事内容等を書いて
くださいとの要望があった。さらに北海道行事は、個別の行事報告書がないので、それぞれの行事
報告書を提出してください。尚、報告書の様式を変更したものを準備しますので、担当理事は対応
してください。

(3) 井駒監事からコメント

予算を守って執行してください。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成16年 10月18日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印